

浦舟だより

平成31(2019)年 2月 1日

第 10 号 (第 236 号)

横浜市立浦舟特別支援学校
E-mail: ysurafun@edu.city.yokohama.jp



心の中の鬼退治

副校長 花井 旬克子

2019年がスタートし1か月が過ぎました。1月は『いく』、2月は『にげる』、3月は『さる』とよく言われますが、新年を迎えたと思ったら、あっという間に2月となっていました。まだまだ真冬の寒さが続いているのですが、日の入りが遅くなり日差しが少しずつまぶしく、季節は春に向かって進んでいます。

さて、2月3日は節分です。「節分」は本来、季節の移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日をさしていました。特に立春が1年の初めと考えられることから次第に「節分」といえば春の節分をさすものとなりました。節分の日には、豆まきをしたり、柵の小枝にイワシの頭をさしたものを門口にたてたりして、鬼を追い払う風習があります。節分に豆を食べるわけは豆の「ま」は魔をさし、自分の心の弱さをさします。豆の「め」は滅亡を意味し、弱い心をなくすことを意味しているそうです。

最近「巻き寿司の丸かぶり」が節分のイベントとして世間に浸透してきました。これは、大阪が発祥の地といわれており、大阪海苔問屋協同組合が道頓堀で行った行事をマスコミが取り上げ、全国の食品メーカーがそれに便乗して全国に広まったそうです。太い巻き寿司をラッパを吹くようにくわえて恵方に向かって私語を交えずに丸ごと食べることにより、1年間よいことがあるそうです。巻き寿司を使う理由は「福を巻き込む」からで、また、まるごと食べるのは「縁を切らないために包丁を入れない」ということです。また、「恵方」とは、その年の干支に基づいてめでたいと定められた方角を表し、今年「東北東やや東」とされています。

私たちの心には、誰でも弱い心があります。そして心の中に鬼がいます。「してはいけないと分かっているけど、誰も見ていないからと囁く鬼」「自分さえよければ大丈夫！というわがまま鬼」、こんな鬼を退治するのは大変です。でも、自分の心の中の「鬼」をぜひ退治して進学、進級に向かって成長してほしいと思います。

これから、3月の卒業式、修了式までは、進級や卒業に向けてのまとめの時期です。次のステップに向かってじっくり力を蓄えていく時期でもあります。

子どもたちがしっかり力を蓄え、笑顔で春を迎えられるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



防災教室

～本校～

1月18日に防災教室がありました。地震災害のDVDを見たり、防災グッズを作ったりして、防災意識を高めることができました。

本校では、防災グッズとして、ポリ袋でポンチヨを作りました。デザインが良く、雨を防ぐだけでなく、保温にも役立つので、「防災以外にも使えそう」という声もありました。



「図工・美術の作品」

～福浦院内学級～

だるま落としの色付けをしました。叩くのがかわいそうになってしまうような、かわいい作品ができてきました。

七宝焼きやカレンダー・羽子板などと合わせて、総合文化祭作品展に展示しました。



節分の会

～センター院内学級～

センター病院では、ひと早く「節分の会」がありました。手作りの看板が「かわいい！」と評判でした。ひいらぎだけでなく、手作りの恵方巻や豆までついています。みんなで、こわい鬼も退治しました。



おべんとう&環境新聞

～訪問指導学級～

食育と環境教室の授業では、自分でテーマを決め、オリジナル弁当の献立や、環境新聞を作りました。バラエティに富んだ力作が完成しました。

当日の発表に向け、準備をすすめています。



2月の予定

- 2月 1日 (金) 全校朝会 (学校保健委員会)
- 2月 4日 (月) ～8日 (金) 中学部後期期末試験週間
- 2月 6日 (水) 短縮授業 (全校)
- 2月 7日 (木) ～8日 (金) 横浜市学力・学習状況調査 (小学部)
- 2月13日 (水) 環境教室
- 2月14日 (木) 短縮授業 (福浦・市民・みなと)
- 2月21日 (木) ～22日 (金) 横浜市学力・学習状況調査 (中1・中2)
- 2月22日 (金) 短縮授業 (福浦・市民・みなと)
- 2月26日 (火) お別れ遠足 (本校)

